

地域おこし協力隊通信 (No. 60) 集まる理由に空き家再生

地域おこし協力隊の活動のひとつに「空き家対策」があります。町としては空き家バンクによる物件情報の掲載や、住宅の改修に掛かる補助金の交付などを行っていますので、私たち地域おこし協力隊は違う角度からのアプローチを試みています。

具体的に言えば、町民の方々とお話しする機会に空き家バンク制度を周知したり、所有している空き家の扱いに困っている人の相談に乗ったりと、より町民に近い立場で対策を行っています。そんな小さい活動でも続けていけば誰かを見てくださっているもので、私たちはよく知る古房集落の方が、「隣の家が空き家になりそうなの」と相談をしてくれました。昨年の夏ごろの話です。

その空き家はご年配の女性ひとり暮らしでしたが、体調を考えて県本土にいる娘さんのところへ引っ越されました。相談をしてくれた方は家が傷まないように定期的に風を通してきていました。が、家というのは人が住まないとおくとどうも悪くなるもので、クモの巣や湿気で、屋内はひどく暗いように感じました。

本土の娘さんと手紙や電話でやり取りを重ねたところ、「種子島に帰ることは少ないが、生まれ育った家を手放したくない」という気持ちがあり、家を壊したり

売却したりせずに残す方法を、一緒に考えることになりました。現在、このお宅は住居として利用できよう、私たち地域おこし協力隊が壊れた天井や床をDIYで修理しています。その場には同じ集落の人が居て、近況を話して笑ったり、一緒にお茶を飲んで昔話をしたりと、空き家再生を理由に集まることが増えてきました。

私たち地域おこし協力隊は、仕事の持ち回りのおかげで町民の皆さんとお話しする機会に恵まれています。その一方で、集落や近所同士のお付き合いに匹敵するようない存在には、もちろんなれていません。あなたの大切な近所の方が、空き家の扱いに困っていたら。企画課、または地域おこし協力隊にお気軽にご相談ください。

―湯目知史(ゆめのもともふみ)―
中種子町地域おこし協力隊員。宮城県出身。種子島の美しい瞬間を文字にして伝えるライター。



空き家修理の休憩にお茶をする様子

平均落札額 68 万 9 千円 種子島子牛せり市

	性別	頭数	12月平均	前回平均	前回対比	前年同期対比
中種子	めす牛	71	611,690	602,481	9,209	△ 53,453
	去勢	115	758,687	706,814	51,873	△ 28,876
	計	186	702,575	659,983	42,592	△ 41,267
市場全体	めす牛	210	614,376	608,313	6,063	△ 39,011
	去勢	304	741,905	713,088	28,817	△ 36,218
	計	514	689,802	670,434	19,368	△ 39,533

※単位：円（税抜き価格、速報値）

種子島子牛せり市が、12月13・14日に種子島家畜市場であり、平均落札額は68万9千円となりました。

